

公益財団法人三重県国際交流財団（MIEF）

令和4年度事業報告

I 概要

「中期計画(改訂版)」(計画期間：令和4年度から令和8年度まで)に基づき、「多様な人々と共に創る多文化を尊重できる社会」を目指して、「多文化共生社会の推進」に重点を置きつつ、「国際交流の促進」、「国際協力の拡充」の3つの事業の柱に沿って事業を展開しました。

II 実績

<公益目的事業>

1 多文化共生社会の推進に関する事業

(1) 外国人住民を対象とした日本語教育の推進

ア 地域日本語教育環境の整備

(ア) 三重県における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業【三重県環境生活部受託事業】

多文化共生の社会において、「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通を図り、円滑な社会生活を送ることができるよう、「三重県日本語教育推進計画～生活者としての外国人の日本語習得に向けて～」に基づき、「生活者としての外国人」の日本語習得に向けた県全体の日本語教育の実施体制を整備しました。

a 総合調整会議の開催

総合的な体制づくりを行うために必要な知見を持つ有識者で構成する会議を開催し、地域や外国人の実態・特性をふまえた日本語教育の推進施策について協議を行いました。

| | 日付 | 場所 | 出席者数 |
|-----|----------|------------|------|
| 第1回 | 6月24日(金) | みえ県民交流センター | 14 |
| 第2回 | 2月15日(水) | みえ県民交流センター | 14 |

b 情報交換・情報伝達プラットフォームの構築

日本語教室、国際交流協会、行政等の各主体間の連携を強化するための仕組みとして、情報交換や情報伝達を行う「プラットフォーム」を構築し、外国人住民へのスムーズな情報提供を実現し、危機や緊急時の迅速な対応を目指しました。また、日本語教室、国際交流協会、行政機関のほか日本語教育機関、外国人を雇用する企業を対象に、プラットフォームへの参加を呼び掛けるため「地域日本語教育体制づくりフォーラムみえ2022」を開催しました。



| | 三重県日本語教育プラットフォーム | MieにほんごLINE |
|--------------|------------------|-------------|
| 形式 | ウェブサイト | LINE公式アカウント |
| 運用開始 | 2022年11月～ | |
| 総ユーザー数/登録者数 | 274人 | 73人 |
| 総視聴回数/主な登録団体 | 2,205回 | 日本語教室、行政、企業 |

| 地域日本語教育体制づくりフォーラムみえ | | | |
|---------------------|----------------------------|------|-----|
| 日時 | 2022年11月11日(金) 13:30～15:45 | | |
| 実施方法 | オンライン (Zoom) | 参加者数 | 33人 |

| | |
|----|--|
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演「三重県地域日本語教育の総合的な体制づくり～はじまりとこれから～」 ・ 講師：愛知淑徳大学 初年次教育部門 助教 鈴木崇夫さん ・ 三重県の取組みについて ・ 実践報告（四日市市、川越町） ・ 三重県地域日本語教育プラットフォームの紹介 |
|----|--|

c 地域日本語教育総括コーディネーターおよび地域日本語教育コーディネーターの取組

（三重県地域日本語教育コーディネーター情報交換会の開催）

三重県における地域日本語教育の体制づくりを推進するために、育成した三重県地域日本語教育コーディネーター同士の連携を継続・強化することを目的として開催しました。地域の日本語教育に関する情報共有・意見交換を行うとともに、随時総括コーディネーターや外部有識者が助言等を行い、三重県地域日本語教育コーディネーターの活動を支援しました。

| | 日付 | 場所 | 出席者数 |
|-----|----------|------------|------|
| 第1回 | 7月10日（日） | みえ県民交流センター | 11 |
| 第2回 | 2月18日（土） | みえ県民交流センター | 10 |

（地域の日本語教室の課題把握・相談対応）

県内のボランティアによる日本語教室の現状を把握するために、日本語教室を訪問し、ヒアリングを行いました。

| 日付 | 地域 | 教室名 |
|-----------|------|-----------------------------------|
| 9月11日（日） | 桑名市 | 桑名市国際交流市民アドバイザー委員会 |
| 9月25日（日） | 四日市市 | 四日市国際交流センター ※四日市市日本語学習支援体制づくり事業 |
| 10月20日（木） | 四日市市 | とみすはら日本語教室 ※四日市市日本語学習支援体制づくり事業 |
| 11月5日（土） | 四日市市 | にほんごカフェ（Zoom） ※四日市市日本語学習支援体制づくり事業 |
| 11月27日（日） | 四日市市 | くすのき日本語教室 ※四日市市日本語学習支援体制づくり事業 |
| 11月30日（木） | 四日市市 | 四日市日本語サークル ※四日市市日本語学習支援体制づくり事業 |
| 1月15日（日） | 津市 | 津市国際交流協会（津北支部） |
| 1月15日（日） | 津市 | 津市国際交流協会（津支部） |
| 1月20日（金） | 津市 | 津市国際交流協会（久居支部） |
| 1月27日（金） | 津市 | 学びあいの会 |
| 1月31日（火） | 津市 | しゃべっていい友 日本語の会 |
| 2月11日（土） | 津市 | 高茶屋日本語教室「がんばる会」 |
| 2月25日（土） | 鈴鹿市 | 牧田いろは教室 |
| 3月7日（火） | 伊勢市 | 伊勢市国際交流協会 いせ日本語教室 |
| 3月8日（水） | 鳥羽市 | 鳥羽市国際交流協会 にほんご工房 |
| 3月12日（日） | 桑名市 | 交流サロン ほっと |

d 親子のためのオンライン日本語教室

子育てに関するテーマ等を主な内容として、子供と一緒に家庭で参加できるオンラインの日本語教室をモデル事業として開催し、効果的な実施方法や成果を検証しました。

地域日本語教育コーディネーターが親子で参加できる内容や、参加しやすい時間帯等を考慮し、企画、広報、実施を行いました。



| | 日付 | 内容 | 参加者数 |
|---|----------|---------------------|-----------|
| ① | 12月9日（金） | クリスマス（食べたいもの、読み聞かせ） | 親子3組（9人） |
| ② | 1月27日（土） | 読み聞かせ、絵描き歌 | 親子8組（19人） |

e 三重県日本語ボランティアセミナー

地域の日本語ボランティア活動の目的や重要性、また地域住民の繋がりとしての地域日本語教室の在り方について学ぶためのセミナーを開催しました。

また、対面開催により参加者間での情報共有やネットワークづくりの時間を設け、県内で活動するボランティア間の連携の強化を図りました。

| 三重県日本語ボランティアセミナー | | | |
|------------------|---|------|-----|
| 日時 | 2023年2月23日（木）10:00～12:00 | | |
| 場所 | アスト津4F会議室1 | 参加者数 | 24人 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演「サードプレイスとしての日本語教室について」 ・ 講師：NPO多文化共生プロジェクト 深江新太郎さん ・ 参加者による意見交換会 ・ 三重県日本語教育プラットフォームの説明 | | |

(イ) 四日市市日本語学習支援体制づくり事業【四日市市受託事業】

外国人市民の日本語学習環境の充実を図るため、三重県と連携し、県が配置する総括コーディネーターのマネジメントのもと、地域日本語教育コーディネーターを活用し、市内日本語教室とのネットワーク会議の開催や四日市市のアドバイザー等による日本語教室の支援、日本語学習成果報告会の開催、日本語学習支援者育成研修、外国人雇用企業向け講演会を実施しました。また、企業内日本語モデル教室の実施や周辺市町との連絡会議を開催し、日本語学習支援体制を構築しました。

【目標】 研修理解度 100%

【実績】 研修理解度 100%

a 日本語教室とのネットワーク会議の開催

市内日本語教室のボランティアが参加し、日本語教室の開催状況、課題等について情報交換を行いました。

| | 日付 | 場所 | 出席者数 |
|-----|----------|----------|------|
| 第1回 | 6月10日（金） | 四日市市総合会館 | 17 |
| 第2回 | 12月2日（金） | 四日市市総合会館 | 10 |

b アドバイザー等による日本語教室の支援

日本語教育アドバイザーが地域日本語教育コーディネーターとともに、市内の日本語教室を訪問し、教室運営や日本語学習支援の方法について、助言を行いました。

| | 日付 | 教室名 |
|-----|-----------|-------------|
| 第1回 | 9月25日（日） | 四日市国際交流センター |
| 第2回 | 10月20日（木） | とみすはら日本語教室 |
| 第3回 | 10月26日（水） | 多文化共生サロン |
| 第4回 | 11月5日（土） | にほんごかふえ |
| 第5回 | 11月8日（火） | Vivaあみーご |
| 第6回 | 11月27日（日） | くすのき日本語教室 |
| 第7回 | 11月30日（水） | 四日市日本語サークル |

c 日本語学習成果報告会の開催

市内の日本語教室が連携して学習成果発表会を開催し、各教室間の日本語学習者及び日本語学習支援者の交流の促進を図るとともに、日本語教室の活動や役割について広く市民に発信しました。



| | 日付 | 場所 | 参加者数 |
|----|--|------------|------|
| | 8月28日（日） | 四日市市市民交流会館 | 92 |
| 内容 | (1)市内日本語教室の紹介(市内日本語教室各担当者) (2)学習者による学習成果発表会 (3)日本語ボランティア体験「日本語で話そう」 地域日本語教育コーディネーター 大陽 悠桂里さん、日比野 一子さん、喜屋武 カストロ アベル 勇さん、 早野 実花さん | | |

d 日本語学習支援者育成研修

市内日本語教室で活動しているボランティアまたはボランティア未経験者の方を対象に研修を実施しました。



| | 日付 | 場所 | 参加者数 |
|-------|--|------------|------|
| 第1回 | 9月25日（日） | 四日市市総合会館 | 24 |
| 内容・講師 | 始めよう！四日市日本語パートナー 1. 四日市市における外国人市民の状況 四日市市市民生活部市民生活課多文化共生推進室 室長 加藤 康孝 2. 四日市日本語パートナーの役割 講師:愛知淑徳大学助教 鈴木 崇夫さん 3. 四日市市内の日本語教室(MIEF) | | |
| 第2回 | 10月23日（日） | 四日市市市民交流会館 | 16 |
| 内容・講師 | 「やさしい日本語」で話そう、伝えよう 講師:ヒューマンアカデミー大阪梅田校 日本語教師養成講座講師 船見 和秀さん | | |
| 第3回 | 11月27日（日） | 四日市市総合会館 | 18 |
| 内容・講師 | 異文化コミュニケーションのポイント 講師:三重県地域日本語教育コーディネーター 早野 実花さん アドバイザー:愛知淑徳大学 鈴木 崇夫さん | | |
| 第4回 | 12月18日（日） | 四日市市立笹川小学校 | 18 |
| 内容・講師 | 外国人市民と話そう！<実践編> 講師:三重県地域日本語教育コーディネーター 早野 実花さん コーディネーター:三重県地域日本語教育コーディネーター 喜屋武 カストロ アベル 勇さん | | |
| 第5回 | 1月22日（日） | 四日市市市民交流会館 | 16 |
| 内容・講師 | 四日市日本語パートナーとして大切なこと<まとめ> 講師:愛知淑徳大学 助教 鈴木 崇夫さん | | |

e 外国人雇用企業向け講演会

外国人を雇用する企業を対象に、「企業における外国人従業員やその家族に対する日本語学習支援」をテーマとした講演会を開催しました。

| | 日付 | 場所 | 参加者数 |
|-------|--|-------|------|
| | 7月12日(火) | オンライン | 44 |
| 内容・講師 | 1. 挨拶 四日市市長 森 智広 2. 外国人受け入れに関する最新情報とポイント 名古屋出入国在留管理局 審査管理部門 相談業務調整 統括審査官 杉浦 理恵 さん 3. 四日市市における外国人市民の状況と日本語学習支援について 四日市市 市民生活部 市民生活課 多文化共生推進室 室長 加藤 康孝 4. 企業内日本語教室の実践例 三重県地域日本語教育コーディネーター 早野 実花 さん 5. 外国人材定着のためのポイント ～社内のできる言語支援とコミュニケーション～ 内定ブリッジ株式会社 代表取締役 浅海 一郎 さん | | |

f 企業内モデル日本語教室

日本語学習支援の理解促進を図るため、モデル事業として、外国人従業員（その家族等も含む）に対する企業内日本語教室を開催しました。

| | | |
|-----|-----|----------------------|
| 第1回 | 企業名 | トーア紡マテリアル株式会社 四日市工場 |
| | 日時 | 6月13日（月）11:00～12:00 |
| 第2回 | 企業名 | 株式会社リョウシンホールディングス |
| | 日時 | 12月22日（木）10:30～11:30 |
| 第3回 | 企業名 | 旭電気株式会社 |
| | 日時 | 1月14日（土）10:00～11:30 |
| 第4回 | 企業名 | トーア紡マテリアル株式会社 四日市工場 |
| | 日時 | 1月20日（金）11:00～12:00 |

g 広域での日本語学習支援体制づくりに向けた周辺市町との連携

外国人住民に対する、市域を越えた広域での日本語学習支援体制づくりを構築するため、周辺市町との連絡会議を設置しました。

| | 日付 | 場所 | 出席者数 |
|------|----------|-------|------|
| 連絡会議 | 7月29日（金） | オンライン | 8 |

(ウ) 川越町多文化社会実態調査事業【川越町受託事業】

川越町（日本語教室の空白地域）において、外国人町民の日本語学習環境の充実を図るため、外国人町民、町内在勤者に対しアンケート調査を実施し、情報収集の手段、日本語で困ること、日本語の学習状況、日本語教室へのニーズ、日本語能力等の実態を把握するとともに、今後の川越町が日本語学習に関する指針を策定するための提案を行いました。

| | |
|-----------|--|
| <調査事業の経過> | |
| 6月 10日 | 第1回実態調査検討委員会 ・川越町多文化共生実態調査（調査項目、手法）について |
| 6月～9月 | 実態調査項目、調査手法の検討 |
| 9月～10月 | 調査実施 |
| 11月～12月 | 調査結果とりまとめ |
| 1月 23日 | 第2回実態調査検討委員会 ・川越町多文化共生実態調査（最終案）について ・日本語学習等推進指針（仮称）策定への提案（案）について |
| 2月 | 「川越町多文化共生実態調査結果報告書」「同 詳細資料」の決定 「日本語学習等推進指針（仮称）策定への提案」の決定 |

I 川越町多文化共生実態調査概要

1. 調査の趣旨 川越町在住在勤外国人の日本語学習環境、生活状況、生活上の困難、町への要望を把握し、多文化共生施策の方針と日本語教育体制の整備について検討する基礎資料とする。
2. 調査方法 (1) 調査票配布(企業経由、小中学校経由、戸別訪問)
(2) QRコード読み取りによる回答
【調査票の言語】日本語、英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語
3. 調査期間 令和4(2022)年9月～11月

4. 調査対象および回答数

| | 回答者数 | 対象者数 | 回答率 |
|----------------|------|------|--------|
| 川越町在住外国人 | 294人 | 528人 | 55.70% |
| 川越町在勤外国人(非在住者) | 51人 | 不明 | — |
| 計 | 345人 | — | — |

5. 調査結果

(1) 回答者の属性

- 年齢層 ①20代(45.4%) ②30代(36.1%) ③40代(7.8%) ④50代(6.1%)
- 国籍 ①ベトナム(38.7%) ②中国(13.3%) ③ブラジル(12.7%) ④ネパール(8.7%)
⑤ペルー(7.8%) ⑥カンボジア(6.3%) ⑦フィリピン(3.4%)
- 在留資格 ①技能実習(46.0%) ②永住者(20.8%)
③技術・人文知識・国際業務(12.4%) ④定住者(7.2%) ⑤特定技能(4.9%)
- 日本滞在期間 ①1年以上3年未満(26.3%) ②3年以上5年未満(25.7%)
③10年以上(24.6%) ④5年以上10年未満(14.2%)
- 川越町在住 ①在住294人 ②非在住52人(四日市33人、朝日町11人、無回答8人)
- 川越町在勤 ①川越町内で仕事している(70.5%) ②他市町で仕事している(24.9%)

(2) 情報の入手

- 情報入手先 ①インターネット(76.5%) ②日本人の友人や知合い(31.6%)
③家族や親せき(31.0%)
- 利用SNS ①Facebook(69.9%) ②Messenger(46.2%) ③LINE(39.3%)
④Instagram(25.1%)
- 欲しい情報 ①保健医療福祉(62.2%) ②税金納税(48.0%) ③日本語学習(40.1%)
④災害情報(37.1%)

(3) 日本語学習の現状

- 現在、日本語を学んでいる人が約4割、学んでいないが今後学びたい人が約4割いる。
- 現在、日本語を学んでいる人の9割は独学である。
- 町内に日本語教室が無いため、他市町の日本語教室に通っている人もいる。
- 隣接する四日市市内には7つの日本語教室、桑名市内には5つの日本語教室がある。

(4) 日本語学習へのニーズ

- 「役場の手続き」や「郵便局・銀行での手続き」、「病気になったとき」に日本語で困ると感じる人が多い。
- 日本語を学ぶ理由は、「日本で生活するために必要だから」、「仕事で必要だから」「日本人と交流したいから」の順で多い。在留資格別で見た場合、永住者は、次い「転職のため」、「子育てに必要だから」が多くなる。
- 日本語を学んでいない理由は「時間が無いから」、「何から学習を始めたらいいか、わからないから」「日本語教室の情報が無いから」の順で多い。

(5) 日本語教室に求めること

- 川越町内で日本語教室が開催されれば、参加したい人が7割近くいる。
- 教室に求める条件は、「参加費が安いこと」「時間が合うこと」「近くにあること」の順で多い。
- 日本語教室には、日本語学習の場とは別に、生活情報の収集、相談の場、日本文化を学ぶ場、日本人との交流の場などのニーズがある。

(6) 日本語能力

- 「聞く」については「相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる」、
「話す」は「簡単な日常会話ができる」、「読む」は「絵の付いた簡単な指示が分かる」、
「書く」は「名前や国名、住所などが書ける」との自己評価が多かった。
- 日本語能力試験の受験
 - ・受けたことがある(43.4%) 受けたことがない(52.6%) 無回答(4.0%)
 - ・レベル N3(22.0%) N4(21.3%) N5(19.3%) N2(16.7%) N1(4.0%)

II 日本語学習等推進指針（仮称）策定への提案

1. 位置づけ

指針への提案は、川越町が外国人住民を対象として、概ね3年度以内に取り組み日本語学習のための環境整備の方向性と具体的な取組イメージを示すもの。

2. 川越町の日本語学習環境整備の具体的な取組イメージ

（取組イメージ1）日本語で交流できる場づくり

- ・外国人住民と、日本人住民との交流を進めるために、生活に関する相談や質問、日本語の学習について、対話を行う場を設ける。

（取組イメージ2）日本語交流パートナーの募集

- ・外国人住民と日本語で対話しサポートする方を「日本語交流パートナー」として募集する。また、パートナー育成のため、基本的な研修を実施する。

（取組イメージ3）子どもたちへの日本語学習支援

- ・小中学校の外国につながる児童生徒に対する日本語教育において、サポーターの配置などによる学習支援を充実し、対話型の学習支援の場や親子教室を設ける。

（取組イメージ4）やさしい日本語の普及

- ・「やさしい日本語」の情報提供の促進と住民、企業、サービス業などにおける「やさしい日本語」の普及啓発に取り組む。

＊例：町の広報活動、パンフレット作成、研修会の実施など。

（取組イメージ5）町内企業との連携による日本語学習環境整備

- ・生活者としての外国人住民が、地域の一員としていきいきと暮らせるよう、企業との連携による日本語学習環境の整備に取り組む。

イ 外国につながる子どもたちへの支援

（ア）多文化共生教育センター事業【自主事業（学校教育支援基金）】

外国につながる園児・児童・生徒の自己実現のため、以下の取組みにより学校における多文化共生教育の促進に努めました。

a 多文化共生教育センター（みーく）の運営

日本語指導、多文化共生教育を行う学校等の情報収集に努め、各種日本語教材を開架しました。

b 高校進学ガイダンスガイドブック多言語版の作成

県教育委員会との協働により高校進学ガイダンスガイドブック多言語版（インドネシア語、英語、韓国朝鮮語、スペイン語、タイ語、中国語、ビサヤ語、ポルトガル語、フィリピン語）を作成しました。

（イ）日本語教材、日本語指導教材の研究・開発・発行【自主事業（学校教育支援基金）】

外国につながる児童・生徒が使用する日本語教材および初期日本語を指導する教職員等が使用する日本語指導教材『みえこさんのにほんご』シリーズは、県内全域の小中高等学校等および県内外の日本語教育機関等において例年約2,000冊使用されています。

令和4年度の発送数は全体で2941冊でした。

| | 全体の発送数 | 発送数の多いもの | | | |
|------------|--------|------------|------------|-----------|-----------|
| | | みえこさんのにほんご | 続みえこさんの日本語 | れんしゅうちょう1 | れんしゅうちょう2 |
| 県内教育機関（無償） | 2210 | 458 | 288 | 464 | 476 |
| その他（有償） | 713 | 90 | 118 | 113 | 80 |
| 合計 | 2941 | 548 | 406 | 577 | 556 |

令和4年度は、同シリーズのうち、次の教材を増刷しました。

| 教材タイトル | 冊数 | 発行日 |
|--------------|-----|-------|
| 『続みえこさんの日本語』 | 100 | 3月31日 |

(ウ) 多言語による読み聞かせ教室【自主事業（三重県共同募金会助成・学校教育支援基金）】

a 多言語おはなし会

外国につながる親子の日本語習得および母語保持を目的に、多言語による読み聞かせ教室を開催しました。

【目標】実施回数 3回、参加者数100人

【実績】実施回数 3回、参加者数 70人



| | 日付 | 場所 | 参加人数 |
|-----|--|---------|------|
| 第1回 | 6月9日（木） | EAS鈴鹿 | 41 |
| 内容 | テーマ:「たなばた」 「たなばた」の絵本を日本語とポルトガル語で読み聞かせした後、内容についての〇×クイズを行いました。願い事を短冊に書いて笹飾りを作成。ポルトガル語と日本語で「きらきら星」を歌いながら踊る活動を行いました。 | | |
| 第2回 | 9月8日（木） | ニッケン学園 | 10 |
| 内容 | テーマ:「かぐやひめ」 アイスブレイクとしての手遊びの活動の後、「かぐやひめ」の絵本を日本語とポルトガル語で読み聞かせを行いました。活動後半では、内容についての〇×クイズをし、竹とんぼを飛ばす活動を行いました。 | | |
| 第3回 | 12月21日（水） | ハマケア四日市 | 19 |
| 内容 | テーマ:「はらぺこあおむし」 果物や野菜の名前を質問してから「はらぺこあおむし」と「やさいさん」の絵本を日本語とポルトガル語で読み聞かせを行いました。活動後半では、クリスマスリース作りを行いました。 | | |

b 多言語読み聞かせのための教材制作

外国につながる親子の日本語習得および母語保持を目的として、多言語による読み聞かせに適した教材として紙芝居「十二支のおはなし」を制作しました。

- ・古代中国からの民話「十二支のおはなし」を平易な日本語で表現
- ・日本語および中国語・英語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語の翻訳を掲載した別冊あり、多言語による読み聞かせに対応
- ・オノマトペで動物たちの動きや鳴き声を表現し、リズムカルに楽しく、読み聞かせが可能



教材制作会議を7回実施しました。

主な協議内容

- | | | |
|--------|-----------|-----------------------|
| 3月31日 | 第1回教材制作会議 | 紙芝居候補の選出 |
| 7月9日 | 第2回教材制作会議 | 大まかなストーリーの決定、委託先候補の決定 |
| 8月4日 | 第3回教材制作会議 | 文章と絵コンテの協議 |
| 9月3日 | 第4回教材制作会議 | 絵本作家の決定 |
| 9月23日 | 第5回教材制作会議 | 文章の訂正 |
| 11月23日 | 第6回教材制作会議 | 文章、絵、絵本についての協議 |
| 1月9日 | 第7回教材制作会議 | 文章、絵について |

c 制作物の周知

紙芝居「十二支のおはなし」をより多くの人に使用してもらうために、三重県国際交流団体のHPに紹介文を掲載しました。

(工) 社会的自立をめざす外国人生徒支援事業【三重県教育委員会受託事業】

高等学校で日本語指導を担当している教員を対象に、研修会を実施しました。また、日本語指導を必要とする高校生を対象に、自主学習のための動画を制作しました。

【目標】 研修理解度 100%
【実績】 研修理解度 100%



a 高等学校における日本語指導担当者研修

| | 日付 | 参加者数 | 研修理解度 |
|-------|---|------|-------|
| 第1回 | 10月13日(木) | 16 | 100% |
| 内容・講師 | 「日本語指導のコースデザインの考え方」 ワーク：参加者による課題・情報共有 学習動画の紹介 講師：三重大学教育学部准教授 服部明子さん | | |
| 第2回 | 12月1日(木) | 14 | 100% |
| 内容・講師 | 「コースデザイン、教案作成について」 講師：三重大学教育学部准教授 服部明子さん 「特別の教育課程」での日本語指導について 講師：三重県教育委員会高校教育課指導主事 竹田 誠さん 「岐阜県の日本語指導の事例」 講師：岐阜県立東濃高校 講師 和田さとみさん ワーク：学習動画を活用した教案作成(グループ)、発表 講師：三重大学国際交流センター非常勤講師 伊藤 晴苗さん 鈴鹿大学元非常勤講師 浦山 美和子さん | | |

b 日本語指導を必要とする高校生対象の動画制作

高校生版みえこさんの日本語 ワークシートを活用した「学校紹介」と「将来の夢」をテーマとした自主学習動画を制作しました。

(2) 外国人住民が相談しやすい環境の整備

ア 相談体制の充実

(ア) みえ外国人相談サポートセンター運営事業【三重県環境生活部受託事業】

県内在住の外国人住民等を対象に、生活に係る相談を多言語で受け、関係の専門機関と連携しながら、情報提供と相談対応を行いました。また、通訳付きの相談会を開催しました。

【目標】 専門機関との連携によるスムーズな相談対応

【実績】 3者通話に加え、相談員研修(社会保険、在留資格、人権等)を通じた対応力向上



a 相談体制

対応日時：日曜日～金曜日 9:00-17:00

対応言語：日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語

b 相談件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|------|
| 相談件数 | 160 | 119 | 149 | 147 | 280 | 177 | 100 | 132 | 103 | 123 | 94 | 112 | 1696 |

c 専門相談会

| 相談分野 | 4/14 | 5/12 | 5/20 | 6/9 | 7/14 | 8/18 | 8/26 | 9/8 | 10/13 | 11/10 | 11/18 | 12/8 | |
|----------------------|------|------|------|-----|------|------|------|-----|-------|-------|-------|------|----|
| 出入国・在留資格 名古屋入国管理局 | 1 | 0 | / | 1 | 1 | 2 | / | 0 | 1 | 0 | / | 1 | |
| 弁護士 | / | / | 2 | / | / | / | 2 | / | / | / | 2 | / | |
| 相談分野 | 1/12 | 2/9 | 2/17 | 3/9 | | | | | | | | | 合計 |
| 出入国・在留資格 名古屋入国管理局 | 1 | 0 | / | 2 | / | / | / | / | / | / | / | / | 10 |
| 弁護士 | / | / | 2 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | 8 |

(イ) みえ外国人相談サポートセンター運営事業業務委託（新型コロナウイルス感染症対応）

【三重県環境生活部受託事業】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大への緊急対応として、当該感染症にかかる相談を受けました。また、日曜日に専門相談会を開催しました。

| 相談分野 | 4/10 | 4/24 | 5/8 | 5/29 | 6/12 | 6/26 | 7/10 | 7/24 | 8/7 | 8/21 | 9/11 | 9/25 | |
|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|----|
| 弁護士 | 1 | 2 | 2 | / | 2 | 0 | 2 | 1 | 1 | / | 2 | 2 | |
| 臨床心理士 | / | 0 | / | 1 | / | 1 | / | 2 | / | 2 | / | 0 | |
| 相談分野 | 10/9 | 10/23 | 11/13 | 11/27 | 12/11 | 12/25 | 1/8 | 1/22 | 2/12 | 2/26 | 3/12 | 3/26 | 合計 |
| 弁護士 | 2 | 2 | 2 | / | 0 | 2 | 1 | 2 | 2 | / | 2 | 2 | 32 |
| 臨床心理士 | / | 0 | / | 0 | / | 0 | / | 0 | / | 0 | / | 0 | 6 |

(ウ) 新型コロナウイルス感染症対応調査員兼通訳・翻訳者配置事業【三重県環境生活部受託事業】

ポルトガル語、スペイン語での対応が可能な人材を雇用し、外国人住民の新型コロナウイルス感染事例等が発生し、保健所からの要請があった場合に迅速に派遣し、保健所での相談、検査、調査等に母国語で対応できる体制を整備しました。

a 対応件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|-----|-----|----|----|-----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-------|
| 要請件数 | 30 | 7 | 0 | 12 | 31 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 84 |
| 対応件数 | 862 | 140 | 0 | 98 | 291 | 24 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,415 |
| 電話対応件数 | / | / | / | / | / | 31 | 17 | 31 | 32 | 23 | 19 | 10 | 163 |

※9月より保健所における調査対象者の変更に伴い保健所での業務が減少したことから電話相談等に対応

b 翻訳件数（6件）

- 主な翻訳
- ・療養期間通知書交付申込書（申請書と記載例）
 - ・「ホテル（宿泊療養施設）をつかう方へ」の同意書の訂正部分の翻訳
 - ・ホテル（宿泊療養施設）をつかう方への訂正部分の翻訳
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性者になられた方へ
 - ・新型コロナウイルス感染症と診断された皆様へ
 - ・新型コロナウイルス感染症と診断された皆様へ訂正部分の翻訳

(エ) 新型コロナウイルスワクチン接種に係る多言語による電話相談対応業務【三重県医療保健部受託事業】

県内に在住する外国人住民を対象に、県内の新型コロナウイルスワクチン接種に関する電話相談に対して多言語で対応しました。



a 相談体制

対応日時：日曜日～金曜日 9:00-17:00

対応言語：日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語

b 相談件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 相談件数 | 77 | 85 | 52 | 35 | 52 | 38 | 41 | 50 | 20 | 17 | 12 | 3 | 482 |

(オ) 労働相談室電話相談通訳事業【三重県雇用経済部受託事業】

県雇用経済部雇用対策課が実施する労働相談に外国人住民の方が相談する際、トリオフォンを活用しポルトガル語およびスペイン語による通訳協力を行いました。

【実績】相談件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| ポルトガル語 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| スペイン語 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 月間計 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 7 |

(カ) 結核に関する電話通訳事業【三重県医療保健部受託事業】

県医療保健部薬務感染症対策課が行う外国人住民に対する結核の問診等について、トリオフォンを活用しポルトガル語、スペイン語、英語、フィリピン語による通訳協力を行いました。

【実績】相談件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| ポルトガル語 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| スペイン語 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| フィリピン語/英語 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 月間計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

(キ) 相談員の専門性を高める研修への参加【自主事業】

より効果的な相談につなげるため、各種相談の専門性を高める研修に積極的に参加しました。

| 研修名 | 内容 | 参加者数 |
|-----------------------|-----------------------------|------|
| 新型コロナウイルスワクチン専門言語通訳研修 | 専門用語、相談対応ロールプレイ | 5 |
| COVID-19相談に対応するための研修会 | 相談対応の基本、相談員の心構え | 6 |
| やさしい日本語研修 | やさしい日本語の使い方、ロールプレイ | 6 |
| MieCo職員研修 | 在留資格説明、ケーススタディ | 8 |
| 消費生活センター勉強会 | 消費者トラブル、靈感商法、エステ契約、資金決済トラブル | 延20 |
| 相談窓口対応力向上研修 | MieCo、コロナワクチンダイアル相談対応力向上 | 7 |
| 社会保険労務士によるスキルアップ研修 | 産休・育休、保険料、解雇制限の概要 | 6 |

(3) 外国人住民が安全で安心して暮らせる環境整備

ア 外国人住民への行政・生活情報の提供

(ア) 外国人住民消費者被害防止事業【三重県環境生活部受託事業】

外国人住民やその関係者を対象に、日常生活で起こりうる消費生活に関するトラブルについて注意喚起をするための研修会を開催しました。

【目標】 研修理解度 100%

【実績】 研修理解度 100%



| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 研修理解度 |
|-------|--|----------------|------|-------|
| 第1回 | 5月31日(火) | EAS鈴鹿 | 64 | 100% |
| 第2回 | 8月20日(土) | オンライン | 24 | 100% |
| 第3回 | 2月11日(土) | 松阪市子ども支援研究センター | 14 | 100% |
| 内容・講師 | 「こんな契約トラブルが多発しています!!」パンフレットを使った消費者被害防止についての説明 三重県環境生活部 暮らし・交通安全課消費生活センター班 相談員 尾崎 靖さん(第1回) 主事 印南 幸介さん(第2回・第3回) | | | |

(イ) インターネットによる情報提供・情報発信【自主事業】

当財団の事業・サービスに関する最新情報および多文化共生の推進・国際交流の促進・国際協力の拡充に関する有益な情報を、財団ホームページにおいて多言語(英語、スペイン語、中国語、日本語、フィリピン語、ポルトガル語)で紹介しました。

【目標】 ホームページ、SNSへのアクセス件数 70,000件(6言語)

【実績】 57,280件

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 日本語 | 2,228 | 1,949 | 1,887 | 1,764 | 1,706 | 2 | 163 | 1,230 | 1,123 | 1,405 | 1,623 | 1,539 | 16,619 |
| 英語 | 64 | 74 | 75 | 52 | 24 | 55 | 58 | 54 | 48 | 45 | 59 | 37 | 645 |
| スペイン語 | 18 | 14 | 42 | 36 | 19 | 9 | 14 | 16 | 17 | 12 | 20 | 21 | 238 |
| 中国語 | 21 | 19 | 28 | 16 | 14 | 13 | 8 | 4 | 9 | 3 | 14 | 8 | 157 |
| フィリピン語 | 15 | 25 | 17 | 4 | 5 | 5 | 2 | 5 | 1 | 9 | 8 | 6 | 102 |
| ポルトガル語 | 64 | 88 | 86 | 89 | 80 | 49 | 53 | 65 | 41 | 43 | 59 | 16 | 733 |
| MieCo | 218 | 197 | 324 | 245 | 139 | 190 | 174 | 174 | 165 | 130 | 107 | 120 | 2,183 |
| Facebook | 4,259 | 3,735 | 5,093 | 6,884 | 6,147 | 2,568 | 1,652 | 1,932 | 1,189 | 977 | 287 | 1,880 | 36,603 |
| アクセス計 | 6,887 | 6,101 | 7,552 | 9,090 | 8,134 | 2,891 | 2,124 | 3,480 | 2,593 | 2,624 | 2,177 | 3,627 | 57,280 |

(ウ) 図書資料の整備、その他情報収集提供【自主事業】

「小さなブラジル図書館」をはじめ、国際交流・異文化理解・国際協力や外国情報等に関する図書・情報を収集し、みえ県民交流センターにおいて提供しました。

【目標】 ブラジル図書貸出冊数 60冊

【実績】 ブラジル図書貸出冊数 100冊



イ 医療・保健・福祉の環境整備

(ア) 医療通訳普及促進事業【三重県環境生活部受託事業】

医療通訳ボランティアを対象とした研修を実施して人材育成を行うとともに、医療従事者・医療看護系学生等を対象に外国人患者の受入れ環境の整備のためのセミナーを実施しました。

【目標】 研修理解度 100%

【実績】 研修理解度 96.9%

a 医療通訳育成研修

医療機関が求める資質（医療に関する基礎知識、倫理）や現場ですぐに活用できる通訳技術等を学ぶため実施しました。



| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 研修理解度 |
|--------|---|-------|------|-------|
| 受講選抜試験 | 8月20日(土) | オンライン | 33 | -- |
| 第1回 | 9月17日(土) | オンライン | 29 | 96.4% |
| 内容・講師 | 「社会の中で医療通訳が果たす役割」「医療通訳の倫理・心得」 (一社)全国医療通訳者協会 代表理事 森田 直美さん 「医療通訳現場を想定した模擬通訳」 【ポルトガル語】ブラジル人 医師 中萩 エルザさん 【ベトナム語】全国医療通訳者協会NAMI 講師 三浦 恵理さん 【フィリピン語】全国医療通訳者協会NAMI 講師 ティンキョ ミリアムさん 【スペイン語】大手前大学国際看護学部 准教授 エレーラ ルルデスさん | | | |
| 第2回 | 10月15日(土) | オンライン | 27 | 96.9% |
| 内容・講師 | 「医療基礎知識講座：精神科編」 三重県立子ども心身発達医療センター 医師 永田 浩貴さん 「医療ソーシャルワーカーと医療通訳者の連携」 鈴鹿中央総合病院社会福祉科科长 藪下 茂樹さん 「医療通訳現場を想定した模擬通訳」各言語講師 | | | |
| 第3回 | 11月19日(土) | オンライン | 19 | 99.5% |
| 内容・講師 | 「医療基礎知識講座：高齢者に多い病気編」 鈴鹿医療科学大学看護学部教授 田中 和奈さん 「医療通訳者の健康・心の管理」 桑名市総合医療センター 医療通訳 カルデナス カルラさん 三重大学医学部附属病院 医療通訳 ワキモト 隆子さん 「医療通訳現場を想定した模擬通訳」各言語講師 | | | |
| 第4回 | 12月17日(土) | オンライン | 21 | 98.4% |
| 内容・講師 | 「医療基礎知識講座：腎泌尿器編」 三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科 医師 井上 貴博さん 「遠隔通訳の際に気を付けること」 東和エンジニアリング東和通訳センター長 中牟田 和彦さん 東和エンジニアリング・鈴鹿回生病院・いなべ総合病院 医療通訳士 大窪 春菜さん 「医療通訳現場を想定した模擬通訳」各言語講師 | | | |

b 外国人患者対応セミナー

言葉・文化の違いを踏まえた外国人患者への対応方法、やさしい日本語を用いたコミュニケーション方法、未収金発生防止策やケーススタディを通じて医療現場で起こり得るトラブルの対処方法を学ぶため実施しました。

| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 研修理解度 |
|-------|---|-------|------------|-------|
| 第1回 | 12月10日(土) | オンライン | 71(動画配信含む) | 95% |
| 内容・講師 | 「外国人患者受入れに係る国の取組みについて」 厚生労働省医政局総務課医療国際展開推進室 室長 中西 浩之さん 「外国人患者受入れに係る三重県の取組みについて」 公益財団法人三重県国際交流財団 国際教育課長 宇藤 美帆 「外国人患者の文化的背景への留意点と対応・ケーススタディ」 多文化共生センターひょうご 代表 北村 広美さん | | | |
| 第2回 | 1月14日(土) | オンライン | 72(動画配信含む) | 96.7% |
| 内容・講師 | 「ケーススタディを通して考える外国人患者の言語・支払いに関するトラブル防止策について」 国際医療福祉大学大学院 准教授 岡村 世里奈さん 四谷メディカルキューブ 営業企画マネージャー 鹿野 裕子さん | | | |
| 第3回 | 2月18日(土) | オンライン | 72(動画配信含む) | 96.0% |
| 内容・講師 | 「医療現場に役立つやさしい日本語」 講義と実践 三重県国際交流財団 「医療通訳を活用した外国人患者対応の実践」 全国医療通訳者協会 代表理事 森田 直美さん 「医療通訳を介した患者の受入れについて」 全国医療通訳者協会 代表理事 森田 直美さん 三重大学医学部附属病院 医療通訳士 ワキモト 隆子さん 市立四日市病院 医療ソーシャルワーカー 岡 香織さん | | | |

c 外国人患者対応出前講座

外国人患者が多く受診し、医療通訳等の外国人患者受入対策のニーズがあると思われる医療機関を対象に、外国人患者を受け入れるために必要な取り組み、未収金防止策及び医療通訳の利用体験演習を行いました。

| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 研修理解度 |
|-------|--|-------------|------|-------|
| | 3月9日(木) | 三重大学医学部附属病院 | 14 | 99.3% |
| 内容・講師 | 「医療現場に役立つやさしい日本語」 ヒューマンアカデミー大阪梅田校 日本語教師養成講座 講師 船見 和秀さん | | | |

(イ) 医療通訳配置【県子ども心身発達医療センター・鈴鹿市受託事業】

医療機関および保健センターに定期的に医療通訳者を配置することにより、医療従事者と患者および保健師等と利用者との間のコミュニケーションの促進に努めました。

県子ども心身発達医療センター

通訳配置：【ポルトガル語】 第2・4火曜日 13:00~17:00

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 通訳件数 | 2 | 7 | 11 | 0 | 0 | 3 | 1 | 6 | 2 | 6 | 4 | 2 | 44 |

鈴鹿市保健センター

通訳配置：【ポルトガル語、スペイン語】 1歳半・3歳児健診(それぞれ月1日) 13:00~15:00

| 通訳件数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| ポルトガル語 | / | / | 15 | 4 | 1 | 11 | 7 | 14 | 7 | 8 | 0 | 34 | 101 |
| スペイン語 | / | / | 15 | 5 | 13 | 15 | 1 | 7 | 5 | 13 | 13 | 16 | 103 |

※4、5月新型コロナウイルス感染症拡大により実績なし

(ウ) 外国につながる子どもたちの発達支援事業【自主事業（寄付金・学校教育支援基金）】

外国につながる子どもたちの発達障がいに関する課題に取り組むため、発達支援の場で必要となる通訳の育成、有識者によるシンポジウム及び松阪市内をモデル地域とした実態調査を行いました。

【目標】研修理解度 100%

【実績】研修理解度 98.2%

a 外国につながる子どもたちの発達支援通訳研修会

発達支援、発達についての検査の際に必要な専門知識、通訳倫理を身に付けるための研修会を開催しました。



| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 研修理解度 |
|-------|---|------|------|-------|
| 第1回 | 5月22日（日） | アスト津 | 26 | 95.6% |
| 内容・講師 | <p>「子どもの心身の成長や発達課題および知能のとらえ方」 「新版K式発達検査について」 講師：一般社団法人三重県公認心理師会会長/ 三重県臨床心理士会理事 仲 律子さん 「発達障がい疑われる未就学児の保護者が相談できる機関」 「療育・児童発達支援を受けるまでの流れ」 講師：桑名市子ども発達・小児在宅支援室 言語聴覚士 村田貴志子さん 「専門用語確認・模擬通訳」 ①発達障がいを疑われる子の保護者への説明 ②新版K式発達検査」 ポルトガル語：医師中萩 エルザさん スペイン語：桑名市総合医療センター医療通訳士 カルデナス カルラさん フィリピン語：全国医療通訳者協会 倉橋 ジェラルディンさん</p> | | | |
| 第2回 | 6月26日（日） | アスト津 | 35 | 99.6% |
| 内容・講師 | <p>「発達相談での受診の流れおよび発達検査後の保護者への説明」 「長時間のスマートフォン使用・動画視聴の子どもへの影響」 講師：三重県立子ども心身発達医療センター児童精神科医師 柿元 真知さん 「発達障がい疑われる就学児の相談機関、検査の受け方について」 「特別支援学級・特別支援学校へ通級・通学の選択について」 「保護者への説明について」 講師：松阪市健康福祉部こども局子ども発達総合支援センターそだちの丘 育ちサポート係主任兼 松阪市教育委員会事務局学校教育課指導主事 小泉 嘉美さん 「子どもの発達支援の通訳に関わる倫理・実践編」 全国医療通訳者協会NAMI 代表理事 森田 直美さん 「専門用語確認・模擬通訳 医療機関・学校での保護者への説明」 各言語講師</p> | | | |
| 第3回 | 7月17日（日） | アスト津 | 27 | 99.4% |
| 内容・講師 | <p>「児童発達支援施設・放課後児童等デイサービス利用方法と具体的な支援の内容について」 講師：心きらきら中川児童デイサービス事業所施設長 浅生 篤さん 「療育センターについて」 講師：鈴鹿市第1療育センター 相談支援専門員 谷口澄さん 「専門用語確認・模擬通訳 ①放課後等児童デイサービスの申込み、 ②療育について」 各言語講師</p> | | | |

b 外国につながる子どもの発達相談会

外国につながる子どもたちの発達について、保護者の不安や悩みの解消、正しい情報を提供することを目的として、通訳付きの相談会を開催しました。

| 相談分野 | 4/10 | 5/8 | 6/12 | 7/10 | 8/7 | 9/11 | 10/9 | 11/13 | 12/11 | 1/8 | 2/12 | 合計 |
|-----------------|------|-----|------|------|-----|------|------|-------|-------|-----|------|----|
| 児童精神科医 臨床心理士 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |

c シンポジウムの開催

外国につながる子どもたちの発達障がいの実態と課題を明らかにし、今後県内において必要な取り組みについて関係者、機関が共有をすることにより、課題解決を進める一歩とすることを目的としてシンポジウムを開催しました。

| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 研修理解度 |
|-------|--|-----------|------|-------|
| | 7月31日(日) | 三重県教育文化会館 | 87人 | 99.9% |
| 内容・講師 | <p>第1部【基調講演】 「愛知県における外国につながる発達障がい児について医療、行政、教育現場における課題と具体的な取り組み」 講師： 高橋 脩さん（社会福祉法人豊田市福祉事業団理事長/児童精神科医）</p> <p>第2部【パネルディスカッション】 「外国につながる発達障がい児について医療、行政、教育現場における課題と具体的な取り組み」 コーディネーター： 仲 律子さん（一般社団法人三重県公認心理師会会長/三重県臨床心理士会理事） 総括： 高橋 脩さん（社会福祉法人豊田市福祉事業団 理事長/児童精神科医） パネリスト： 与那城 郁子さん（国立障害者リハビリテーションセンター企画・情報部発達障害情報・支援センター 発達障害情報分析専門官） 柿元 真知さん（三重県立子ども心身発達医療センター児童精神科医） 杉山佳菜子さん（愛知みずほ短期大学准教授） 保護者2名</p> | | | |

d 外国につながる子どもたちの発達障がいに関する実態調査

発達支援を必要とする外国につながる子どもたちの教育、医療、行政の現場における課題について調査し、子どもたち及び保護者に必要な支援を明確にしました。

ウ 災害対策の充実

(ア) 災害時外国人住民支援事業【三重県環境生活部受託事業】

言葉・文化の違いにより、災害弱者の立場に置かれている外国人住民が災害に関する基礎知識や共助の考えを学び、災害時要援護者から支援者になるための研修を実施するとともに、大規模災害を想定した避難所における外国人避難者の受入れや多言語での情報提供の方法を検討する訓練を行いました。

【目標】研修等理解度 100%

【実績】研修等理解度 98.6%

a 企画会議

防災活動及び外国人住民と関わりのある団体（国際交流団体、日本語教育、NPO、外国人労働者を雇用する企業等）を招集し、事業内容の検討や実施後の検証を行う会議を実施しました。

| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 研修理解度 |
|-----|----------|--------|------|-------|
| 第1回 | 7月20日(水) | 四日市市役所 | 12 | -- |

| | | | | |
|-------|---|--------|----|----|
| 内容・講師 | 「企画会議構成員自己紹介」 「災害時の外国人支援について～外国人防災リーダーズの育成～」 講師：（公財）仙台観光国際協会 国際化事業部長 須藤 伸子さん 「事業概要説明及び実施内容の検討」 | | | |
| 第2回 | 2月21日(火) | 四日市市役所 | 15 | -- |
| 内容・講師 | 「事業報告」 「今後の災害時外国人住民支援事業について」 | | | |

b 外国人防災リーダー育成研修

自助・共助の担い手として、地域住民と協力しながら防災に取り組む外国人キーパーソン「外国人防災リーダー」の育成を目的とした研修を実施しました。また、外国人防災リーダーが地元で活躍できるよう、事業開催市町における登録を促進しました。



| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 研修理解度 |
|-------|--|---------------|------|--------|
| 第1回 | 9月11日(日) | 四日市市総合会館 | 25 | 100.0% |
| 内容・講師 | 「災害に関する基礎知識」 講師：四日市市危機管理総括部危機管理課副参事 坂倉 啓史さん 「外国人防災リーダーズに求められる役割及び活動の事例紹介」 講師：（公財）札幌国際プラザプロジェクト事業担当課 大高 紡希さん 「四日市市災害ボランティア支援センターについて」 講師：四日市市社会福祉協議会 社会福祉士 野田 延聖さん 「グループワーク：外国人防災リーダーズにできる活動について」 | | | |
| 第2回 | 10月9日(日) | 四日市市北消防署 北部分署 | 18 | 100.0% |
| 内容・講師 | 「実践①防災倉庫視察」 指導：四日市市危機管理総括部危機管理課副参事 坂倉 啓史さん 指導：三重県四日市地域防災 総合事務所 地域防災課 門 弦輝さん 「実践②応急手当講習」 指導：四日市市消防団 サルビア分団 | | | |

c 避難所における外国人住民受入訓練

避難所運営や支援活動に携わる団体、外国人住民とつながりのある団体等に所属する方を対象に、避難所における外国人避難者の対応・支援について学ぶ訓練を実施しました。また、外国人避難者対応における課題を整理し、必要な事前準備事項を検討しました。



| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 研修理解度 |
|-------|--|----------|------|-------|
| | 11月20日(日) | 四日市市消防本部 | 31 | 98.4% |
| 内容・講師 | 「四日市市における避難所の運営」 講師：四日市市危機管理統括部 危機管理課 出田 慎二さん 「避難所での外国人避難者対応」 講師：（一財）熊本市国際交流振興事業団 常務理事 八木 浩光さん 「実践 やさしい日本語を用いた外国人避難者の受入訓練」 指導：（一財）熊本市国際交流振興事業団 常務理事 八木 浩光さん | | | |

d 多言語情報提供に特化した図上訓練（三重県・MIEF及び6市合同研修）

地域の災害時多言語支援センターから市町（桑名市、四日市市、鈴鹿市、津市、伊賀市、名張市）に発信する災害多言語情報の受信及び市町における外国人住民への災害情報の発信方法を検証する訓練を実施しました。



| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 研修理解度 |
|-------|---|------|------|-------|
| | 2月1日(水) | アスト津 | 86* | 95.8% |
| 内容・講師 | <p>*86人中、57人は訓練時の協力者として参加（外国人コミュニティキーパーソン等）</p> <p>「みえ災害時多言語支援センターの役割と機能」 講師：三重県 環境生活部 ダイバーシティ社会推進課 主査 谷本 圭さん</p> <p>「災害時における多言語情報提供」 講師：（一財）自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー 高橋 伸行さん</p> <p>「多言語情報提供に特化した図上訓練」 指導：（一財）自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー 高橋 伸行さん</p> | | | |

(イ) 避難所運営訓練事業【伊勢市受託事業】

災害発生時において、外国人住民をめぐる混乱やトラブルを回避し、よりスムーズな行動が取れるよう外国人避難者への対応方法を学ぶ避難所運営に関する研修会を実施しました。



- 【目標】研修会参加人数
まちづくり協議会12人×2回
市職員12人×2回 計48人
- 【実績】研修会参加者数 43人

| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 研修理解度 |
|-------|---|-----------|------|--------|
| 第1回 | 10月29日（土） | 伊勢市防災センター | 16 | 100.0% |
| 内容・講師 | <p>「避難所における外国人住民への対応について」 講師：MIEF 専門員 上原 ジャンカルロ</p> <p>「災害時における外国人住民とのコミュニケーションを考える」 講師：皇學館大学 准教授 濱畑 静香さん</p> | | | |
| 第2回 | 12月11日（日） | 伊勢市防災センター | 27 | 98.6% |
| 内容・講師 | <p>「避難所における外国人住民への対応について」 講師：MIEF 専門員 上原 ジャンカルロ</p> <p>「災害時における外国人住民とのコミュニケーションを考える」 講師：皇學館大学 准教授 濱畑 静香さん</p> | | | |

(ウ) 外国人住民を対象とした防災訓練事業【津市受託事業】

災害時の外国人支援に関心を持ち方を対象に、災害に関する基礎知識や対人援助における通訳者の倫理、通訳技術など災害時の外国人支援に役立つ知識を身につける研修を実施しました。

【目標】研修参加人数 30人

【実績】研修参加人数 22人



| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 研修理解度 |
|-------|--|-------------|------|-------|
| | 3月18日 | 津市高茶屋市民センター | 22人 | 97% |
| 内容・講師 | 「災害時に外国人避難者へ安心を届けるコミュニケーションー避難所対応」 講師：（一財）熊本市国際交流振興事業団 八木 浩光さん 「津市の消防に関する基礎知識」 講師：津市消防本部 通信指令課 大東 雄一さん 消防救急科 奥山 和司さん 同 小野 麻衣さん | | | |

(エ) 災害時外国人住民サポート事業【桑名市受託事業】

桑名市に在住または通勤・通学する外国人住民を対象に、地域の災害について学び、災害時に自分自身や家族、周りの人を助けるための知識を身につける研修を実施しました。

【目標】セミナー参加人数 30人

【実績】セミナー参加人数 68人

a 企画会議

防災活動及び外国人住民と関わりのある団体（国際交流団体、日本語教育、NPO、外国人労働者を雇用する企業等）を招集し、事業内容の検討や実施後の検証を行う会議を実施しました。

| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 研修理解度 |
|-------|---|--------|------|-------|
| 第1回 | 10月21日(金) | 桑名市市役所 | 15 | -- |
| 内容・講師 | 「企画会議構成員 自己紹介」 「札幌災害外国人支援チームSAFEの概要について」 講師：（公財）札幌国際プラザ プロジェクト事業担当課 大高 紡希さん 「事業概要説明及び実施内容の検討」 | | | |
| 第2回 | 2月22日(水) | 桑名市市役所 | 14 | -- |
| 内容・講師 | 「事業報告」 「今後の災害時外国人住民支援事業について」 | | | |

b 外国人住民体験型防災セミナー

桑名市に在住または通勤・通学する外国人住民を対象に、地域の災害について学び、災害時に自分自身や家族、周りの人を助けるための知識を身につけるセミナーを実施しました。

| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 研修理解度 |
|-------|---|---------|------|-------|
| 第1回 | 12月18日 | 桑名市消防本部 | 68 | 100% |
| 内容・講師 | 「地震・風水害から命を守ろう！」 講師：桑名市防災・危機管理課 主幹（防災専門監） 藤井 一隆さん 「桑名外国人防災リーダーズの活動紹介」 発表：桑名外国人防災リーダーズ 代表 ゴ ティ ホン ニュンさん 「防災体験 災害時に役立つロープワーク」 指導：北伊勢防災ボランティア 「防災体験 起震車体験、煙体験、防火服試着体験」 指導：桑名市消防本部 | | | |



(オ) 平時からの輪で動く災害対応事業【自主事業（自治体国際化協会助成）】

大規模災害時に備え、最も有効な手段と思われる外国人コミュニティキーパーソンとの顔の見えるネットワークを作ることにより、情報提供を確実に行うことで外国人住民の安全安心につなげる環境の構築を目指し、外国人コミュニティキーパーソンの調査及び外国人コミュニティへの適切かつ正確な情報提供のあり方について学ぶ意見交換会を実施しました。

【目標】研修等理解度 100%

【実績】研修等理解度 99.1%

a 外国人コミュニティキーパーソン訪問・アンケート調査

県内5市のキーパーソンを訪問し、アンケート調査を行いました。アンケートでは、情報の受取り希望方法や外国人コミュニティへの伝達方法を確認し、情報伝達訓練への参加、災害時における情報の拡散を依頼しました。



b 外国人コミュニティキーパーソン意見交換会

外国人コミュニティキーパーソン、防災リーダーズ、市、市国際交流協会職員に集まっただき、外国人コミュニティへの適切かつ正確な情報提供のあり方について学ぶとともに、相互の関係づくりを目指した意見交換会を開催しました。



| | 日付 | 場所 | 参加者数 | 理解度 |
|-------|---|--------|------|-------|
| | 1月21日(土) | アストホール | 29 | 99.1% |
| 内容・講師 | 「外国人コミュニティへの情報提供のあり方について」 講師：SHIZULATINOS 代表 渡邊 カルロスさん TRADUÇÃO LB 代表 ロドリゲス ブレンダさん 「三重県における災害時の情報発信について」 講師：公益財団法人 三重県国際交流財団 上原 ジャンカルロ 「意見交換・発表」 | | | |

工 就労対策の充実

(ア) 三重県地域活性化雇用創出プロジェクト外国人の就職支援事業インターンシップ実施業務

【三重県産業支援センター受託事業】

就業体験を通して、外国人求職者が自身の適性・能力や県内の中小企業の魅力を知る機会を提供することで、県内企業への就職を促進しました。

●インターンシップ

2期（のべ15事業所/医療業・飲食サービス業・自動車部品試作製作業・社会福祉事業・宿泊業・総合工業業・鉄鋼業等）

●参加者数：51人

（身分地位に基づく在留資格を有する方 34人、留学生17人）



| | 日付 | 場所 | |
|--------|---|-------|--|
| 事前セミナー | 第1期 10月16日（日） 第2期 1月14日（土） | オンライン | |
| 内容・講師 | <ul style="list-style-type: none"> ・「インターンシップの心構え・就職体験先の企業研究等について」 1級キャリアコンサルタント技能士 地主久美子さん ・「企業で働く先輩の体験談」四日市市市民生活部市民生活課 多文化推進コーディネーター 田中 クリスチャンさん ・「インターンシップ申込み動機、課題、希望職種の聞き取り、目標設定」 「インターン生、キャリアコーディネーター、MIEF職員との意見交換」 2級キャリアコンサルティング技能士・キャリアコンサルタント・ 産業カウンセラー 黒田 恭子さん 2級キャリアコンサルティング技能士・精神保健福祉士 林 史子さん キャリアカウンセラー 平塚 秀敏さん キャリアコンサルタント・産業カウンセラー・社会福祉士 二見 裕子さん ・「日本の職場で使用する日本語」 三重大学教育学部准教授 服部 明子さん | | |
| 事後セミナー | 第1期 10月16日（日） 第2期 就業体験後随時 | オンライン | |
| 内容・講師 | <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ体験発表 ・「インターンシップ振り返り、目標達成度の確認、意見交換」 2級キャリアコンサルティング技能士・キャリアコンサルタント・ 産業カウンセラー 黒田 恭子さん 2級キャリアコンサルティング技能士・精神保健福祉士 林 史子さん キャリアカウンセラー 平塚 秀敏さん キャリアコンサルタント・産業カウンセラー・社会福祉士 二見 裕子さん | | |

オ 多文化共生の意識啓発

(ア) 多文化共生啓発事業【自主事業】

多文化共生の啓発に主体的に取り組むとともに、県内で実施される多文化啓発イベント等の協力や後援などを行うことを通じて、多文化共生社会づくりに貢献しました。

【目標】 連携数 20件

【実績】 合計 24件 主催：1回 協力：14回（講師派遣、インターン受入） 後援：9回

(イ) 多文化共生セミナー【自主事業】

| | |
|-------------|---|
| <p>主催事業</p> | <p>(公財)三重県国際交流財団 創立30周年記念 三重の多文化共生ステージアップシンポジウム 「誰一人取り残さない三重の多文化共生に向けて」の開催</p> |
| <p>趣 旨</p> | <p>三重県には、ブラジル、ベトナム、フィリピンなど、5万3千人以上の外国人住民が暮らしています。県内総人口に占める割合も、2.97%と高く、全国第4位となっています。</p> <p>外国人住民の多年齢化により、課題は子育て、教育、医療、防災、高齢者福祉など、全世代にわたり、ますます複雑化し、大きくなっています。なかでも、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校で日本語指導が必要な児童生徒は2,657人へのぼり、日本語習得や学力定着などが大きな課題となっています。また、多国籍化に伴い多言語による情報提供が求められるものの、十分には対応できていないという現実があります。</p> <p>外国人住民は、家庭人、地域人、児童・生徒、その保護者、勤労者、医療サービス・福祉サービスの受け手など、多面的に地域社会、産業界、医療福祉機関、行政など関わっています。</p> <p>外国人住民と日本人住民が互いに認め合い、共に地域社会を築いていく三重の多文化共生を進めていくため、さまざまな課題群を再認識し、行政、民間団体、企業、地域住民などが、三重の多文化共生の実現に連携して取り組んでいくための共通基盤の形成につなげていくことをめざします。</p>  |
| <p>日 時</p> | <p>令和4年11月25日(金) 12時50分～16時35分</p> |
| <p>場 所</p> | <p>三重県人権センター 多目的ホール(津市一身田大古曾693-1)</p> |
| <p>内 容</p> | <p>基調講演 「外国人とともに創る持続可能な地域をめざして」 (一財)ダイバーシティ研究所・代表理事 田村太郎さん</p> <p>講 演 「多文化共生の実現に向けて」 鈴鹿市長・全国市長会外国人受け入れ問題に関する検討会議座長代理 末松 則子さん</p> <p>パネルディスカッション 「誰一人取り残さない三重の多文化共生に向けて」 コーディネーター: (一財)ダイバーシティ研究所・代表理事 田村 太郎さん パネリスト : 鈴鹿市長 末松 則子さん 「外国人の労働環境に関する課題と多文化共生について」 NPO法人日本ポリア人協会・理事長 山田 ロサリオさん 「個々の伴奏支援」から「住みよいしゅかいへのしくみづくり」へ NPO法人伊賀の伝丸・代表理事 和田 京子さん 「技能実習生受け入れ ～ 外国人従業員雇用～」 (株)戸田家・取締役執行役員業務支配人 宍倉 秀明さん 「CLD生徒(外国人生徒)の自立に向けて」 三重県立飯野高等学校・校長 中川 剛さん</p> |
| <p>参加者</p> | <p>103人</p> |

カ 多文化共生の推進体制の整備

(ア) 財団パートナー制度運営事業【自主事業】

登録パートナーの協力により、「通訳・翻訳」、「医療通訳」、「災害時の外国人住民支援」、「発達支援」の4分野において活動の推進を図りました。また、各分野登録者を対象に研修、交流会を実施することにより、活動への理解が進むよう努めました。



【目標】 交流会参加者 30人

【実績】 交流会参加者 26人

a パートナーの人数および活動状況

| 分野 | 登録者数 | 活動件数 |
|------------|---------------|--------------------|
| 通訳・翻訳パートナー | 261人（うち新規 9人） | 通訳21件、翻訳77件、国際理解0件 |
| 医療パートナー | 125人（うち新規 6人） | 0件 |
| 災害パートナー | 86人（うち新規 8人） | 5件 |
| 発達支援パートナー | 25人（うち新規 10人） | 12件 |

b パートナー交流会

| | 日付 | 場所 | 参加者数 |
|-------|---|-------|-----------------------|
| | 3月11日（土） | オンライン | 26人 （うち7人は後日ビデオ受講） |
| 内容・講師 | (1) 研修「学校における通訳の心得と多文化についての知識 ～子どもたちのためにできること～」 講師：一般社団法人日本公共通訳支援協会 代表理事 西村 明夫さん (2) 交流会 | | |

2 国際交流の促進に関する事業

(1) 国際交流の促進

ア 国際交流促進

(ア) 韓国高校生交流事業【自主事業（学校教育支援基金）】

韓国と日本の高校生が、相互の学校や家庭および地域での生活を経験し、交流することを通じて相互理解を深めることを目的として実施する県立津商業高等学校と韓国世宗大聖高等学校および県立昂学園高等学校と韓国養正高等学校の学校間交流を支援しました。

【目標】 ホームページ等において支援内容を公開

【実績】 ○県立津商業高等学校と韓国世宗大聖高等学校（オンライン交流）

| | |
|-----|-----------|
| 第1回 | 7月11日(月) |
| 第2回 | 8月9日(火) |
| 第3回 | 12月28日(水) |

○県立昂学園高等学校と韓国養正高等学校

日程が合わず、令和4年度の交流は実施せず。

イ 国際交流団体調査【自主事業】

国際交流及び多文化共生社会の推進を目的として、県内で国際交流・国際協力活動や多文化共生社会の推進などを行う団体及び外国人住民が利用する施設等の状況を把握し、財団ホームページで情報を提供しました。

【目標】 情報更新 毎年

【実績】 8月に団体調査を実施後、情報を更新

3 国際協力の拡充に関する事業

(1) 国際協力の拡充

ア 友好関係国等の事業支援

(ア) パラオ青少年育成事業【自主事業（パラオ青少年育成基金）】

三重県とパラオ共和国との友好提携を機に、財団に寄贈された「パラオ青少年育成基金」の果実により、パラオ共和国青少年の育成を支援しました。

【目標】 ホームページ等において支援内容を公開

【実績】 相手方の申し出により送金を延期

(イ) 在外県人会連絡活動支援事業【自主事業（在外県人会活動支援基金）】

寄贈された「在外県人会活動支援基金」の果実により、移住者等で構成されるブラジルやアルゼンチンにおける三重県人会の活動を支援しました。

【目標】 ホームページ等において支援内容を公開

【実績】 相手方の申し出により送金を延期

<法人事業>

(1) 理事会・評議員会の開催

公益財団法人三重県国際交流財団定款に基づき、6月、3月に通常理事会および定時評議員会を開催しました。

ア 理事会

| | 日付 | 主な決議事項 |
|----------|----------|---|
| 第1回通常理事会 | 6月6日(月) | R3年度事業報告・決算、任期満了に伴う役員改選候補者 |
| 臨時理事会 | 6月21日(火) | (決議省略) 正副理事長・常務理事選定 |
| 臨時理事会 | 9月16日(金) | (決議省略) 就業規程一部改正、再任用規程制定、理事辞任及び後任理事候補者 |
| 第2回通常理事会 | 3月8日(水) | R4年度事業計画変更・補正予算、R5年度事業計画・当初予算、就業規程改正、職員任用・給与等取扱要綱改正、県退職職員の年俸制課長任用取扱要綱制定 |

イ 評議員会

| | 日付 | 主な決議事項 |
|-----------|----------|------------------------------------|
| 第1回定時評議員会 | 6月21日(火) | R3年度決算、任期満了に伴う役員選任、評議員辞任に伴う後任評議員選任 |
| 臨時評議員会 | 9月30日(金) | (決議の省略) 理事辞任に伴う後任理事選任 |
| 第2回定時評議員会 | 3月24日(金) | 決議事項なし・報告事項のみ |

(2) 東海・北陸地域国際化協会連絡協議会

東海・北陸地区の地域国際化協会が、情報交換や研修等を通じ相互に連携・協力を図ることを目的として設立された同連絡協議会の総会および研修会等に参加し、協会間の連携を深めました。

| | 日付 | 開催場所 | 参加協会数 |
|----|--|----------------|-------|
| | 10月21日(金) | (公財) 名古屋国際センター | 10協会 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度総会 議事：審議1 令和3年度事業報告及び決算について 審議2 令和4年度事業計画及び予算(案)について 審議3 「外国人こころの相談」における地域国際化協会東海北陸ブロックの連携(案)について ・ 各協会から令和4年度の重点事業や先導的な取り組みなどの紹介 ・ 業務研究会①「外国人のメンタルヘルス～(公財)岐阜県国際交流センターフィリピン人カウンセラーの話」 ・ 業務研究会②「ウクライナ避難民への対応」について情報交換 | | |

(3) 三重県国際交流協会連絡会の開催

県内の国際交流協会が相互に連携・協力を図ることにより、県全体の国際化の推進に寄与することを目的として連絡会を開催しました。

| | 日付 | 開催場所 | 参加協会数 |
|----|--|------------|-------|
| | 9月30日(金) | みえ県民交流センター | 7協会 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・(公財) 鈴鹿国際交流協会の取組みについて ・テーマ別意見交換・情報交換 テーマ：A 多様な人材の育成・活用について B コロナ禍による業務への影響について | | |

(4) 他団体からの委託事業の確保

これまで培ってきたノウハウを基に、県や市町、企業等の他団体に対し積極的な事業提案を行い、委託事業等につなげることで経営の安定化に努めました。

(5) 賛助会員の募集

財団の趣旨に賛同し、支援していただける賛助会員を募集します。

| 入会数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| パートナー | 3 | 0 | 0 | 16 | 23 | 4 | 1 | 2 | 0 | 2 | 0 | 7 | 58 |
| 個人 | 1 | 2 | 2 | 31 | 17 | 3 | 6 | 2 | 2 | 2 | 1 | 0 | 69 |
| 団体 | 1 | 0 | 0 | 14 | 23 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 43 |

(6) インターンの受入れ

多文化共生への理解を深めていただくこと等を目的として、インターンおよび職場体験学習の受入を行いました。

| 期間 | 学校名 | 受入人数 |
|----------------------|---------|------|
| 8月12日、15日～18日 | 関西外国語大学 | 1 |
| 10月18日～20日 | 飯野高校 | 3 |
| 10月25日 | 徳風高校 | 1 |
| 11月1日、8日、15日、22日、29日 | 三重大学 | 1 |

(7) 関係機関への講師および委員等の派遣

関係機関等からの要請に基づき、職員を講師または委員等として派遣しました。

ア 講師派遣

| 日付 | イベント・セミナー名 | 主催 |
|-----------|---|------------------------|
| 4月11日(月) | 「総活躍社会の重要性を実感しよう」 | 津青年会議所 |
| 5月27日(金) | 「国際看護」 | 三重県立看護大学 |
| 7月28日(木) | 「多様性社会を生きる「次世代」の育成～外国につながる子どもたちへの学習支援～」研修 | 全国市町村国際文化研修所 |
| 8月9日(火) | 「多文化共生について考えよう」 | 多気町人権教育推進協議会 |
| 8月23日(火) | 「日本語指導を必要とする児童生徒への支援」 | 三重県教育委員会 |
| 8月26日(金) | 「現地学習会」EAS鈴鹿校×多気町交流会 | 多気町人権教育推進協議会 |
| 9月15日(木) | 松阪市人権関係職員研修 | 松阪市 |
| 10月4日(火) | 「国際看護」 | 岡波看護専門学校 |
| 11月9日(水) | 「鈴鹿多言語災害ボランティア研修」 | 鈴鹿国際交流協会 |
| 11月17日(木) | 「人権講演会～多文化共生～」 | 松阪市立射和小学校 |
| 12月10日(土) | 「児童発達支援・療育に関する通訳」 | 全国医療通訳者協会 |
| 12月13日(火) | 「多文化共生深堀講座」 | みえ市民活動ボランティアセンター |
| 12月17日(土) | 「防災×要援護者」コーディネーション研究集会 | JVCA日本ボランティアコーディネーター教会 |
| 2月20日(月) | 「外国人生徒支援のための情報交換会」 | 三重県教育委員会 |

イ 委員派遣

| 会議・役職名 | 所管（主催）団体 | 当財団からの派遣者 |
|--|--------------------------------|-----------|
| 多文化共生推進会議・委員 | 三重県（環境生活部ダイバーシティ推進課） | 常務理事兼事務局長 |
| みえ多文化共生地域協議会 | 三重県（環境生活部ダイバーシティ推進課） | 常務理事兼事務局長 |
| 三重県人権啓発懇話会・幹事 | 三重県（雇用経済部雇用対策課） | 常務理事兼事務局長 |
| 三重県防災減災対策会議・委員 | 三重県（防災対策部防災企画地域支援課） | 常務理事兼事務局長 |
| G7 三重伊勢志摩交通大臣会合推進協議会・委員 | G7 三重伊勢志摩交通大臣会合推進協議会（三重県雇用経済部） | 常務理事兼事務局長 |
| 三重県高等学校国際教育研究協議会・参与 | 三重県高等学校国際教育研究協議会 | 常務理事兼事務局長 |
| 定住外国人に対する就労支援推進連絡協議会 | 三重労働局職業安定部 | 常務理事兼事務局長 |
| 三重県地域留学生交流推進会議・会員 | 三重大学（国際交流課） | 常務理事兼事務局長 |
| 三重県中小企業団体中央会・会員 | 三重県中小企業団体中央会 | 常務理事兼事務局長 |
| 地域国際化協会連絡協議会・会員 | 地域国際化協会連絡協議会 | 常務理事兼事務局長 |
| 東海北陸地域国際化協会連絡協議会・会員 | 東海北陸地域国際化協会連絡協議会 | 常務理事兼事務局長 |
| （公財）三重県生活衛生営業指導センター・評議員 | （公財）三重県生活衛生営業指導センター | 常務理事兼事務局長 |
| （公財）ささえあいのまち創造基金・評議員 | （公財）ささえあいのまち創造基金 | 常務理事兼事務局長 |
| 東海地区外国人観光客誘致促進協議会三重県部会・顧問 | 三重県（雇用経済部観光局海外誘客課） | 企画総務課長 |
| ユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会 | 三重県（子ども福祉部ユニバーサルデザイン推進課） | 企画総務課長 |
| 市民協働の担い手育成・連携強化等に関する協働事業委託プロポーザル審査会・委員 | 四日市市 | 企画総務課長 |
| 津市国際交流推進基金運営委員会・委員 | 津市 | 企画総務課長 |
| 松阪市人権施策審議会・会長 | 松阪市 | 企画総務課長 |
| （公財）鈴鹿国際交流協会・副理事長 | （公財）鈴鹿国際交流協会 | 企画総務課長 |
| 三重県立飯野高校人権教育推進協議会 | 三重県立飯野高等学校 | 国際教育課長 |
| 外国人児童生徒教育検討会議 | 三重県教育委員会 | 国際教育課長 |
| 桑名市外国人児童生徒教育運営協議会 | 桑名市教育委員会 | 国際教育課長 |

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告の内容を補足する重要な事項は特にありません。